

# 縁起の良いおせち料理のいわれ

日本には1年に5つの節句があります。  
 節句には神様にお供えし、家族みんなでいただく。  
 これがおせち料理の始まりとなり、特にお正月料理に  
 食べる料理をおせち料理と呼ばれるようになりました。  
 5つの節句  
 ・1月7日(人日)・3月3日(上巳)・5月5日(端午)



 <p>数の子はニシンの卵で、たくさんの卵が詰まっていることから、子孫繁栄を願った縁起物</p>	 <p>黒は魔除け。まめ(勤勉)に働きまめ(健康)に暮らせることを祈って</p>
 <p>肥料として使われたイワシを食べることで豊作を願う</p>	 <p>腰が曲がるまで丈夫と言う長寿祈願</p>
 <p>祝い事の定番。メダタイに通じる</p>	 <p>「よろこび」のごろ合わせ</p>
 <p>かまぼこは「日の出」の象徴。赤は「魔除け」</p>	 <p>「金団(きんとん)」は「金の団子」という意味で金運を願う</p>
 <p>出世魚である鱈にあやかり出世を願う</p>	 <p>穴の開いたレンコンは「将来を見通す」という意味の縁起担ぎ</p>
 <p>祝い事にもちいる紅白の水引にあやかる</p>	 <p>親芋が大きいことで「頭(かしら)」になることを願う              小芋がたくさんつくことから子宝を願ったもの</p>